

Jootoとの シングルサインオン設定手順

最終更新日:2021年01月12日

目次

1.利用に際しての前提条件

2.連携までの流れ

3.連携にあたっての詳細手順

3-1.CloudGate UNOの設定変更依頼

3-2.CloudGate UNOアカウントとJootoアカウントの関連付け

3-3.Jootoのシングルサインオン設定

利用に際しての前提条件

1.利用に際しての前提条件

- ・SSOを行うためにはJootoのエンタープライズプラン契約が必要となります。
- ・SSO有効化のON/OFF切り替えはJooto管理者メニュー→シングルサインオン設定画面にて実施いただけます。(切り替え実施のタイミングは貴社毎の運用に合わせる事が可能となります。)

連携までの流れ

2. 開通までの流れ

jooto

CloudGateUNO



お客様



必要情報の入手



3-1. CloudGate UNOの設定変更依頼

およそ5営業日で開通

CloudGateUNO

jooto



3-2. アカウントの関連付け

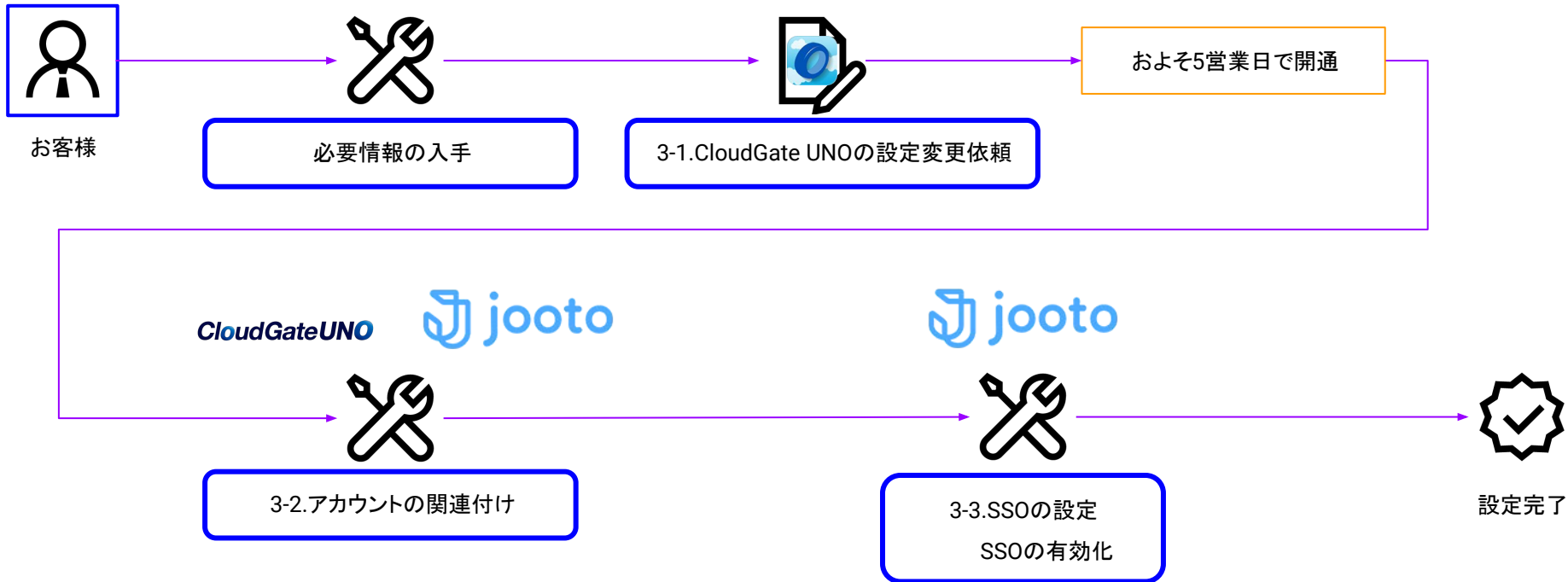
jooto



3-3. SSOの設定
SSOの有効化



設定完了



連携にあたっての詳細手順

3-1.CloudGate UNOの設定変更依頼

・SAML Site URL

JootoのログインURLを提供してください。

・SAML Provider Name

なし

(2020年7月現在は固定値「https://app.jooto.com」となります。)

・SAML ACS URL

JootoのSSO設定画面→「IdPの設定」内
「ACS URL」をご提供ください。

左記情報を弊社営業担当までご提供ください。
※頂いた内容を元に5営業日ほどお時間を
いただき、認証連携設定を実施致します。

3-2.CloudGate UNOアカウントとJootoアカウントの関連付け

CloudGate UNO管理者サイト>アカウント管理よりアカウントを作成し
アカウントIDの関連付けを行います。
※以下は手動で行う場合の例です。CSVファイルを使った一括登録も可能です。

■Jooto側の"SAML連携用ID"は
Jootoの
ログインID(Eメールアドレス)となります。



CloudGate UNOのユーザー管理画面



CloudGate UNO側とJooto側で
"SAML連携用ID"を一致させる必要があります。

3-3.Jootoのシングルサインオン設定(1/4)

CloudGate UNO>アイデンティティプロバイダー画面から、JootoのSSO設定画面で必要になる情報及び証明書ファイルを取得します。

※これ以降は全てCloudGate UNO開通及びJooto連携設定完了後の設定となります

CloudGate SSOサーバー
ヘルプ

SSO設定

プロバイダー名	https://[redacted]jp/sso/[redacted]/
ログインURL	https://[redacted]jp/sso/[redacted]/login.xhtml
ログアウトURL	https://[redacted]jp/sso/[redacted]/logout.xhtml

①SAML メタデータ(ダウンロードボタンをクリックし「SAML メタデータ」を保存します。)

OIDC ユーザー情報エンドポイントURL	https://[redacted]jp/api/customers/[redacted]/userinfo
証明書	ダウンロード
証明書のフィンガープリント (SHA1)	[redacted] コピー
証明書のフィンガープリント (SHA256)	[redacted] コピー
証明書のフィンガープリント (MD5)	[redacted] コピー
① SAML メタデータ	ダウンロード

3-3.Jootoのシングルサインオン設定(2/4)

Jootoの管理者画面>左メニュー「SSO設定」をクリックしSAML設定を実施した後、SSOを有効化します。

SSO 設定

SAMLベースのシングルサインオン(SSO)を設定し、ユーザーはJootoアカウントを発行せずJootoをご利用することができます。ご利用中のIdPを選択し設定してください。

SAML Identity Providerを選択してください

ご希望のIdPを選択してください。IdP名は現在ご利用中のサービス名を選択し、ドメイン名はご自身が所属している企業のドメイン名を入力してください。

IdP 選択 ①

Other

ご利用されているIdPを選択してください。

ドメイン名 ②

o.jp

ドメイン名を入力してください。例 user1@example.com の場合 example.com になります。

説明 (任意) ③

CloudGate UNO

設定時に記載しておきたい情報を入力してください。(必須ではありません。)

戻る **次へ** ④

クリック

- ① 「Other」を選択
- ② 貴社ご使用ドメインを入力
- ③ 任意の文字列を入力 (例: CloudGate UNO)
- ④ ①～③の設定が済んだらクリック

次スライドへ進む

3-3.Jootoのシングルサインオン設定(3/4)

SSO 設定

SAMLベースのシングルサインオン(SSO)を設定し、ユーザーはJootoアカウントを発行せずJootoをご利用することができます。ご利用中のIdPを選択し設定をしてください。

IdP側の設定

ご利用中のプロバイダーに以下の情報を設定してください。
設定方法は[こちら](#)を参考してください。

以下の情報をプロバイダーに設定してください。

Login URL:	https://app.jooto.com/		
Entity ID:			
ACS URL:	HTTP-POST https://app.jooto.com/		
SP ATTRIBUTE 1:	Name: email	Type: Basic	Value: Member
	Friendly name: email		email
SP ATTRIBUTE 2:	Name: first_name	Type: Basic	Value: Member
	Friendly name: first_name		first_name
SP ATTRIBUTE 3:	Name: last_name	Type: Basic	Value: Member
	Friendly name: last_name		last_name

① クリック

戻る **次へ** ①

次スライドへ進む

3-3.Jootoのシングルサインオン設定(4/4)

SSO 設定

SAMLベースのシングルサインオン(SSO)を設定し、ユーザーはJootoアカウントを発行せずJootoをご利用することができます。
ご利用中のIdPを選択し設定をしてください。

SAML IdP メタデータをインポート

IdP側にてJootoの設定を行ったあと発行されるXMLメタデータを入力してください。

XML メタデータ

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?><md:EntityDescriptor
```

①

戻る

完了

②

クリック

- ① テキストエディタで開いた CloudGate UNOのメタデータをコピー＆ペースト
 - ② ①の設定が済んだらクリック
- ※①は、事前に CloudGate UNO管理者サイト>アイデンティティプロバイダー設定画面より準備した情報を設定します。(P10を参照)

※SSO設定後、Jootoの管理者画面にてSSO利用開始処理を実施いただくとSSOが有効化されます。

株式会社インターナショナルシステムリサーチ

TEL : 03-3384-1123

FAX : 03-3384-1124

<https://www.cloudgate.jp>

